決算特別委員会産業建設分科会

R 3. 9. 15 (水) 午前 10 時 30 分
9. 16 (木) 午前 10 時 00 分
9. 17 (金) 午前 10 時 00 分
9. 22 (水) 午前 10 時 00 分

場所：第 2 委員会室

事務事業評価：全員協議会室

1 開 議

2 事務局日程説明

3 付託議案審査（説明～質疑）

（審査日程：別紙）

※事務事業評価対象事業を除く。

- (1) 第 11 号議案 令和 2 年度亀岡市一般会計決算認定（所管分）
- (2) 第 16 号議案 令和 2 年度亀岡市土地取得事業特別会計決算認定
- (3) 第 18 号議案 令和 2 年度亀岡市水道事業会計決算認定
- (4) 第 19 号議案 令和 2 年度亀岡市下水道事業会計決算認定
- (5) 第 55 号議案 令和 2 年度亀岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- (6) 第 56 号議案 令和 2 年度亀岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

4 事務事業評価

- (1) 林業担い手育成事業経費
- (2) 観光推進経費（外国人観光客向け観光案内所窓口強化業務委託料）
- (3) 観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費）
- (4) 観光推進経費（亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）

5 討論～分科会採決

6 委員長報告の確認

7 その他

令和3年9月議会 決算特別委員会産業建設分科会 審査日程

令和3年9月15日（水） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～		全体会（決算状況説明） 決算状況説明		
10:30～	第11号	一般会計（まちづくり推進部所管分） ・ 2 款総務費 ・ 8 款土木費（4 項都市計画費 1 目都市計画総務費まで） (歳出歳入、主要施策報告書に記載のない歳入一括説明・質疑)	まちづくり推進部	
昼休憩				
13:00～	第11号	一般会計（まちづくり推進部所管分） ・ 8 款土木費（4 項都市計画費 2 目土地区画整理費から） ・ 1 1 款災害復旧費 (歳出歳入、主要施策報告書に記載のない歳入一括説明・質疑)	"	
14:00～	第16号	土地取得事業特別会計 (歳出歳入一括説明・質疑)	"	
14:05～		(事務事業評価打合せ)	—	
休憩				
14:30～		【事務事業評価】 ・ 林業担い手育成事業経費	産業観光部	
休憩				
15:30～		【事務事業評価】 ・ 観光推進経費（外国人観光客向け観光案内所窓口強化業務委託料）	"	

令和3年9月16日（木） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～	第11号	一般会計（産業観光部所管分） ・ 2 款総務費・ 6 款農林水産業費 ・ 1 1 款災害復旧費 (歳出歳入一括説明・質疑)	産業観光部	
昼休憩				
13:00～	第11号	一般会計（産業観光部所管分） ・ 5 款労働費・ 7 款商工費・ 8 款土木費 (歳出歳入一括説明・質疑)	"	
休憩				
14:15～		【事務事業評価】 ・ 観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費）	"	
休憩				
15:15～		【事務事業評価】 ・ 観光推進経費（亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）	"	

令和3年9月17日（金） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～	第18号	水道事業会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	上下水道部	
	第55号	水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (説明～質疑)	"	
11:00～	第19号	下水道事業会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	"	
	第56号	下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (説明～質疑)	"	
11:40～		分科会討論・採決	—	

令和3年9月21日（火） 分科会予備日

令和3年9月22日（水） 日程（予定）

予定時間	内容		理事者	備考
10:00～	分科会（委員長報告確認）			
上記終了後	全体会（分科会委員長報告、事務事業評価結果等）			
上記終了後	会派会議			
13:00～	全体会（討論、採決）			
休憩				
上記終了後	常任委員会	行政報告（亀岡市都市計画マスタープランの改定について）	まちづくり推進部	
上記終了後	委員会議案審査	第9号議案 川の駅・亀岡水辺公園条例の制定について	産業観光部	
上記終了後	委員会議案審査	委員会討論・第9号採決・議会だより決定	—	

令和2年度決算事務事業評価資料(R3.9審査)

別紙No.4

一般会計		款	農林水産業費	項	林業費	担当課	農林振興課
対象事務名		林業担い手育成事業				主要施策報告書	169ページ
目的	事業の目的は何か	市内森林所有者を組合員とする森林組合に対して、森林の有する公益的機能の増進を図ることができるよう、健全な運営等について助言及び指導に努めている。また、森林の整備健全化を図るうえで、急激に減少・高齢化している林業従事者の新陳代謝を図るとともに、将来にわたり安定的な林業労働力を確保していく。					
手法活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()					
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	・森林組合育成事業の補助 ・林業労働者共済事業の補助(長期共済・退職金に対する補助) ・緑の担い手育成事業の補助(健康保険・厚生年金・雇用保険助成)					
成果	目的に対する成果は何か	事業の合理化と林業従事者の就労環境の改善を図ったことにより、市内林業従事者の減少を食い止め、現在の林業従事者の雇用確保と人材育成に資することができた。しかしながら、新規林業従事者の確保までは至っていない。					
コスト	事業に係る経費は	内訳		金額	説明		
		森林組合育成事業補助金		958,000	指導事業費等396,000円・林業センター活用184,000円・森林保安管理巡視活動378,000円		
		林業労働者共済事業補助金		404,800	長期事業301,780円・林業退職金助成事業103,040円		
		緑の担い手育成事業補助金		220,875	業務災害補償保険119,647円・定期健康診断27,698円 他		
	計			1,583,675			
	事業に携わった職員数は	0.2人 ×@7,109,000=		1,421,800	※		
					合計	3,005,475	
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳		金額	説明		
		府支出金		51,520	新林業労働者共済事業費補助金(1/2以内)		
		府支出金		147,250	緑の担い手育成事業補助金(2/3)		
		計		198,770			
課題方向性	今後の課題は何か	最近の林業への就業環境は、木材価格の低迷などの影響で就労者の減少に加え高齢化している。そこで、森林環境の管理者としての役割を担う林業就農者の確保に向け、森林組合の経営基盤の強化と就労条件の改善を推進し、林業就農者のための情報提供や相談活動を行うとともに、専門的な技術の習得などの支援が必要となる。					
	今後の方向性はどうか	既存の林業事業就業者や新しく林業へ就労を希望される方へ福利厚生を確保し安定した担い手の確保に努めます。具体的には、林業就農者は新規雇用から3年以内に辞めてしまうことが多いので、緑の担い手育成事業(新規就労者支援事業)等を活用して、新規就労者の確保に向けた取り組みを重点的にサポートしていきます。					

※職員の平均人件費を参考数値として示している

令和2年度決算事務事業評価資料(R3.9審査)

別紙No. 4

					担 当 課	商工観光課
一般会計	款	商工費	項	商工費	目	観光費
対象事業名	観光推進経費(外国人観光客向け観光案内所窓口強化業務委託料)				主要施策 報告書	177ページ
目的	事業の目的は何か	JR亀岡駅及びトロロコ亀岡駅観光案内所に英語対応可能なスタッフを配置し、外国人観光客が必要とする情報をすぐに提供できる体制を整えることで、ニーズに応じた観光案内業務を行い、本市滞在時間の延長の満足度を図る				
手法活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金支給 ☐ その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	JR亀岡駅観光案内所・トロロコ亀岡駅観光案内所において外国人観光客のみならず日本人観光客に対して窓口対応業務を行った他、アフターコロナの反転攻勢を図るべく、各種イベントや祭のチラシ・パンフレット等の英語意訳作業を行った				
成果	目的に対する成果は何か	令和2年観光入込客数 1,787,602人 (対前年51%) 令和2年観光消費額 4,865,164千円 (対前年56%) 各観光案内所利用者数 21,160人(対前年41%) うち外国人観光客 410人(対前年1.7%)				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		観光推進経費(その他業務委託料)	12,763,300			
		計	12,763,300			
	事業に携わった職員数は	0.25人 ×@7,109,000=	1,777,250			
				合計	14,540,550	
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		一般財源	6,381,650			
		国庫補助金	6,381,650	地方創生推進交付金(1/2)		
		計	12,763,300			
課題方向性	今後の課題は何か	・ポストコロナにおけるインバウンド需要を見越した誘客受入態勢の充実				
	今後の方向性はどうか	上記の課題に取り組み、市民も含め、より多くの人々が観光資源等に集い、交流することで持続的、発展的にぎわいの創出				

※職員の平均人件費を参考数値として示している